



桜塚高校 2年 平井葉月「梅雨のしとした雰囲気が好きです」

とよなか国際交流センターからのおしらせピックアップ

問合・申込 とよなか国際交流協会(指定管理者) ☎06-6843-4343 (水曜、年末年始を除く毎日、9:00~20:00)

～平和と共存のための～

おまつり地球クラブ

「ようこそ!ベナンへ!」

6/17日(土) 10:00~12:00

小学生対象、参加費100円(材料費)

法的手続き～

7/1(土) 10:00~12:00

参加費無料

日本語フィリピン語通訳有

(場所:庄内公民館)

参加費無料

庄内多言語進路ガイダンス

7/9(日) 13:00~16:00

フィリピン人の離婚と再婚

～日本とフィリピンでの

(※参加費は記載がないものは無料、場所は記載がないものはすべてとよなか国際交流センターです)

2017学びほぐしシリーズ

「あたりまえ」に対抗する“ばづくり・ひとづくり”実践者セミナー オキナワ編

オキナワを考える

とよなか国流の人気企画「学びほぐし」シリーズ、今回は今年で本土復帰45周年を迎えた沖縄をテーマに「オキナワを考える」と題して連続セミナーを開催しました。

普段、私たちがテレビなどで見聞きするオキナワといえば、青い海、白い砂浜。バラエティ番組ではタレントが鮮やかなシャツを着て国際通りを歩き、報道番組では基地のゲート前での抗議活動を映す。もちろん、それらもオキナワの一つの姿ですが、はたしてそれがオキナワのすべてでしょうか。今回はオキナワに関わったり、共通するトピックを持つ5人の方を通して私たちの持っているオキナワのイメージ、オキナワの“あたりまえ”を学びほぐしました。学びほぐしシリーズ「オキナワを考える」は参加者のべ100名を超え、大変好評に終わりました。

次号のセンターお知らせで特別編として各回の詳しい内容をご報告いたします。



5/2(火) 13:00~15:00

イラク帰還米兵が見たオキナワ
～Study War No More～

アッシュ・キリエ・ウールソン
さんによる講演 (参加者35名)

5/20(土) 13:00~15:00

アメラジアントーク!

田口ローレンス吉孝さん、
山口博之さん、セイヤー・
ケンさんによるトーク (写
真左から・右は司会トーマ
ス) (参加者21名)



5/27(土) 13:00~15:00

戦後沖縄社会のあゆみ

～データが覆す

＜沖縄イメージ＞～

岸政彦さんによる講演
(参加者57名)

海外より



日本人、聞こえますか～?

(第6回)

中原田ブルーナ

外国人のための多言語相談サービス(ポルトガル語)多言語スタッフと、子ども事業コーディネーターをしていた中原田ブルーナさんが、2015年4月より故郷、ブラジルに滞在しています。ブルーナさんからのブラジル生活便りをどうぞ。

みなさんお久しぶりです。ブルーナです。ブラジルに帰ってきて2年経ちました。ブラジリアにやっと慣れてきたと思ったら、家族の関係で生まれた場所のサンパウロ州サンベルナルドカンポ市に戻ってくることになりました。親戚はほとんどみんなサンベルナルドにいますので、たくさんの人に会っています。今までの人生の大半は親戚と離れて暮らしていたので不思議な気持ちです。子どものころの話をしたり、家族の過去の話や初めて聞いたりして楽しいです。

そして最近Krav Maga (クラヴマガ) という護身術を始めたのですが、クラスメイトに「なぜ日本で格闘技やならなかったの?」と聞かれ、「ん。。。なんで? 興味なかったから。。。?」と答えましたが、そのあと家に帰っているいろいろ考えてしまいました。「〇〇だからこうあるべき」のような発言にイライラし、SNSにつぶやいてしまいました。

SNSに書いたことを一部共有します。「ブラジルでは日本人と呼ばれ、日本ではブラジル人と呼ばれるのと同じで、ブラジルではなぜ日本で格闘技学ばなかったの」と聞かれ、日本ではなぜブラジルでカポエイラやらないのと聞かれる(今はイスラエル発祥の護身術をやっている)。そしてブラジル音楽も邦楽もあまり知らないのに他の国の音楽を聞く。楽器も、日本もブラジルも関係のないウクレレをやっている。日本語とポルトガル語を上達させないといけないのに英語、スペイン語、ドイツ語が勉強

したくなる。」と投稿をしました。

日系ブラジル人、外国にルーツを持つ友達やいろんな国の背景を持つ友達からコメントをもらいましたが、自分の出身地以外どこにも行ったことのない人でもこういう偏見を持った質問をされることがあるのではないかと思います。自分の出身地の伝統や文化は大事だと思いますが、「私は間違っているのかな。〇〇らしいことしないといけないな」と思われるような発言に気をつけることにしています。面白い性格の人や独特な人、「変わっている人」が非常に好きなので、人の個性を大事にしたいと改めて思いました。

写真は中学校時代の友達の大学卒業パーティのときの写真です(卒業をした友達は写真の真ん中)。ブラジルでは卒業生だけのパーティではなく、家族や他の友達をパーティに誘うことが多いです。私はいろんなところに引っ越してきて、近くに友達がいらないのですが、みんないろんなところでそれぞれの人生を歩んでいるのを見て幸せな気分になります。



(右から2番目がブルーナさん)

第4回目となるシネマカフェ、今回は韓国映画「シルミド」を上映しました。実話に基づく映画である、ということで韓国でも話題になった作品です。参加者からは「国家に命を左右される韓国の事件、我々も他人事とは思えません。しっかり国の動きを見張っていかねばと思いました。」「今まで観た映画のベスト5の一つです。」という感想をいただきました。次回も素晴らしい映画を上映予定です。乞うご期待！



3月19日、地域の小学校をつかって行われた「桜本フェス」。自分たちの憤りも喜びも表現に昇華させた高校生の、アツクストレートな言葉に身を浸しました。



川崎市ふれあい館の鈴木健さんから、ふれあい館に集まる子ども・若者と、支援のあり方を伺いました。



フィリピンガイサは、フィリピンコミュニティが主体的に運営する日本語学習支援のNPO。修了式で嬉しそうに賞状をうけとる子どもたち。



遊悠楽舎のある所は、静かな小高い丘の上。「なにもなくていい」を大事にする場所に、ゆるやかに若者があつまります。とても気持ちいい。



なんぢゃ・カンチャ・言わせてもらえば（第97回）

「声に出して読む働き」

皇甫康子（ふぁんぼ・かんぢゃ）

先日、6年生の音読の授業を参観しました。星野道夫さんの「森へ」という、アラスカからカナダにかけて広がる原生林の世界を表現した作品を音読し、グループでアドバイスをし合い、みんなの前で発表するという授業です。頑張っている子を発表者に選び、聞く側が一生懸命に聞き、仲間の音読を支えていました。安心して音読ができる、クラスの雰囲気素晴らしく、この教室に聴覚しょうがいを持つ子どもがいたら、どんな授業になっていたのかも気になりました。

参観したあと、「音読」と「朗読」のちがいや働き、音読指導の留意点などについて考えることができました。私も担任をしていたとき、音読カードを渡し、毎日、おうちの人に聞いてもらうという宿題を出していました。吃音のある子への配慮はしていたものの、音読を聞ける、聞いてもらえる状況にない保護者や子どもたちがいることを考えずに、宿題を出していたことが今でも悔やまれます。助言の先生のお話を聞いて、目で読むだけでなく、声に出して読むことで、書いてあることを確認したり理解したりする役目があることにも気づきました。日本語の読み書きができなかった一人暮らしの祖母に、町内会の回覧の文章を読んであげたのは小学校中学年の頃だった

と思います。祖母が理解できるまで何度も読んだり、説明したりしていました。外国から来た子どもたちが、習いたての日本の文字を指で押さえながら、たどたどしく読み進む姿にも出会いました。また、読むことができても、本に書いてある日本の文化がわからず、内容が理解できないこともあります。声に出すことで、一緒に確認し、理解を深めることができるのです。

高校の時の選択授業は音楽で、発表会の時の司会を演劇部だった私がすることになりました。三好達治の詩「蟹」の合唱を紹介するとき、初めて大勢の人の前で詩の朗読をしました。部活でしていた発声練習のお陰で、深みのある声で良かったと好評でした。自分の声が発表会の雰囲気づくりに貢献できたことがうれしくて、その後、大学の民族サークルでの発表会や「慰安婦問題」などの集会での司会もやりました。教員になってからは、気に入った本の紹介とともに、読み聞かせをたくさんしています。物語をイメージしやすいように読む工夫も必要だし、自分の考えや願いを込めて読むこともあります。そういえば、ミウ＝ミウが主演のフランス映画、「読書する女」を観て、あんな素敵な声で朗読できればとあこがれたことがありました。文字が読

めない子どもや大人たちに、物語を読むという幸せな経験も思い出します。

被爆した母と子の手記を読む朗読劇、「この子たちの夏」を観たとき、朗読のすごさに圧倒されました。何十年たっても、1945年8月の広島と長崎の凄惨な状況が再現されるのです。1985年の初演以来、23年間767回の全国を巡る公演活動が行われました。この公演に出演してきた18人の女優が集まり2008年3月、新しく「夏の会」を立ち上げ、女優たちによる朗読「夏の雲は忘れない」1945・ヒロシマ ナガサキの公演活動をスタートしています。今年の夏も公演が予定されています。

4月に転任した学校の6年生に、修学旅行で広島に行く前日、奥田継夫さんの集団疎開の絵本、「お母ちゃん、お母ちゃんむかえにきて」を読みました。シーンと静まり聞き入ってくれる子どもたちと、戦争はしてはいけないという思いを共有することができました。次回は井上ひさし原案による絵本、「けんぼうのおはなし」（講談社）をぜひ、みんなに読みたいと思っています。大人たちも、気持ちが良くなったり、生きる勇気が湧いたり、自然や人間の素晴らしさに感動できる、「音読」や「読み聞かせ」や「朗読」を聞きたいですね。

とよなか国際交流センターの事業について

定例事業

国際交流に関する情報の収集および提供事業

センター内の「ふれあい交流サロン」にて、子ども、おとな向けの書籍をお借りいただけます(多言語絵本もあります)。また、様々な媒体で定期的に日本語、多言語で情報発信を行っています。

国際理解推進事業

子ども、おとなを対象とした多文化共生・国際理解の勉強会を随時行っています。「(おまつり地球一周クラブ)」「市民セミナー」「世界を食べよう」「多文化・多言語セミナー」等

在住外国人に対する支援事業

「子ども母語」 第2・4日曜日10:00~12:00

・母語学習(中国語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語)を通じて仲間づくり、居場所づくりをしています。幼児・小学生・中学生・高校生が参加しています。スタッフも外国にルーツをもつ学生です。

「学習支援サンプレイス」日曜日13:00~15:00※第1日曜除く

・日本語と学習支援の活動を通じて子どもたちの居場所づくりをしています。小学生・中学生・高校生が参加しています。ボランティアは大学生で、外国にルーツをもつ大学生ボランティアも多数参加しています。

「多文化保育にこにこ」 木曜日13:30~15:30、金曜日10:30~12:00

・外国にルーツを持つ就学前の子どもたちが、さまざまな人と出会い、社会性を身につけるべづくりをしています。

在住外国人に対する相談事業

夫婦関係、DV、在留資格、行政手続き、医療、労働、教育、子育て、人間関係等、何でも相談できます。面談でも、電話でもOK。秘密厳守!

毎週金曜日11:00~16:00 (電話06-6843-4343)

対応言語:フィリピン語・タイ語・中国語・韓国朝鮮語・スペイン語・インドネシア語・ベトナム語・英語・ネパール語・ポルトガル語・日本語

国際交流活動への住民の参加促進事業

留学生ホストファミリー事業ほか、日本語交流活動にも数多くの市民がボランティアとして参加しています。

日本語交流活動

「もっともっとなつかえるにほんご」月曜日10:00~12:00
 「とよなかにほんご・木ひる」木曜日13:30~15:30(保育活動あり)
 「とよなかにほんご・金あさ」金曜日10:30~12:00(保育活動あり)
 「にちようがちゃがちゃだん」日曜日10:00~12:00※第1日曜除く
 「千里にほんご」木曜日10:00~11:30 (場所:千里文化センター)

地域の外国人とボランティアが出会い、日本語交流を通じて生活に必要な日本語を学び、豊かな人間関係を築く場をつくっています。

「おかまち・おやこでにほんご」(場所:岡町図書館)
 「しょうない・おやこでにほんご」(場所:庄内図書館)
 「せんり・おやこでにほんご」(場所:千里図書館)
 火曜日10:00~12:00

乳幼児を抱えて家にこもりがちな外国人女性が子どもを連れて安心して集い、交流・情報交換ができるママ友づくりの場を図書館の協力のもとで実施しています。運営ボランティアも子育て中の女性です。

……その他、市民参加型のイベントや人権や多文化共生に関する講座、対話の場なども実施しています。また、ボランティアについてのお問合せや国際交流団体の運営相談にも随時対応しております。お気軽にお問合せ下さい。

【お問合せ】 TEL 06-6843-4343 FAX 06-6843-4375

とよなか国際交流協会(指定管理者) Facebook!ほほ毎日更新中!「公益財団法人とよなか国際交流協会」で検索!

開館時間:午前9時~午後9時30分/業務受付時間:午前9時~午後8時 休館日:毎週水曜日、年末年始
 アクセス:阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分(阪急梅田駅から急行で11分)
 地下3階に有料駐車場有り(210台)、1階に有料駐輪場あり(自転車・バイク)

編集・発行 公益財団法人とよなか国際交流協会(とよなか国際交流センター指定管理者)
 〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1-1-601 とよなか国際交流センター
 E-mail: atoms@a.zaq.jp http://www.a-atoms.info

施設管理に関する業務 : 貸室について

★駅前で便利!★ 会議やイベントにぜひご利用下さい。

センター貸室使用申込み…受付時間:開館日の午前9時から午後8時まで
 会議室、料理室、音楽・健康づくりルーム、和室、プレイルーム、ギャラリーを初めてご使用になる場合は、事前の登録が必要になりますので、お問合せ下さい。

とよなか国際交流センター貸室使用料金表

部屋名	広さ (m ²)	定員 (人)	料金 (円)				設備
			午前 9:00~12:00	午後 13:00~17:00	夜間 18:00~21:30	全日 9:00~21:30	
会議室 1	41	18	520 2,600	720 3,600	640 3,200	1,880 9,400	ホワイトボード(小)
会議室 2A	34	21	480 2,400	600 3,000	520 2,600	1,600 8,000	
会議室 2B	65	48	840 4,200	1,120 5,600	1,000 5,000	2,960 14,800	
会議室 2C	33	21	440 2,200	560 2,800	520 2,600	1,520 7,600	ホワイトボード(2ABC2BCを一堂として使用する場合は不可)
会議室 3	55	18	520 2,600	720 3,600	640 3,200	1,880 9,400	ホワイトボード(大)
会議室 4	63	30	840 4,200	1,080 5,400	960 4,800	2,880 14,400	ホワイトボード(小)、流し台
会議室 5	27	12	360 1,800	480 2,400	400 2,000	1,240 6,200	ホワイトボード(大)
和室	38	18	480 2,400	680 3,400	560 2,800	1,720 8,600	10畳
ギャラリー	18	-	240 1,200	320 1,600	280 1,400	840 4,200	壁面ガラスケース、ピクチャーレール
プレイルーム 1	57	20	880 4,400	1,160 5,800	1,040 5,200	3,080 15,400	子ども用トイレ
プレイルーム 2A	43	15	680 3,400	880 4,400	760 3,800	2,320 11,600	子ども用トイレ、畳(一部)
プレイルーム 2B	52	18	800 4,000	1,040 5,200	920 4,600	2,760 13,800	子ども用トイレ
音楽・健康づくりルーム	113	40	1,480 7,400	2,000 10,000	1,760 8,800	5,240 26,200	アンプ/マイク/必要な訓練の費用は各使用者負担)、ビデオ、カセット、CD、MD、マイク、壁面鏡、更衣室(ロッカー、洗面台)
料理室	90	30	1,720 8,600	1,720 8,600	1,560 7,800	5,000 25,000	調理台6台のうち昇降式調理台2個、準備室(ロッカー、洗面台、ホワイトボード)

- 備考 1. 2区分にわたって継続して使用する時の使用料は、それぞれの区分の料金の合計額とします
 2. 料理室の使用区分のみ、料理室枠内の記載時間とします
 3. 上段:国際交流目的で使用する時の料金(内容審査あり)、下段:その他の活動で使用する時の料金
 4. 使用時間には、準備、後片付けの時間を含みます(時間厳守)
 5. 鍵は時間の5分前からお渡しができます その際「使用承認書兼領収証」を必ずご提示ください

◎国際交流の活動を応援します!◎

登録グループ制度についてのご案内

とよなか国際交流センターでは「登録グループ制度」を設置し、国際交流の活動に組織的かつ継続的に取り組む方々の自主的な活動推進のための支援を行っています。

登録グループへの支援内容(一部)
 ・国際交流目的で貸室を毎月2コマ(午前・午後・夜間のいずれか)1室につき1コマまで無料で使用できます。
 ・センター内の掲示板で情報提供できます
 ・印刷機が無料で使用できます(紙は要持ち込み)

・センター内のロッカーが無料で利用できます。…など
 その他、登録グループになるための要件、登録後の役割等については「登録グループ制度要項」に詳細に記載しています。豊中市のウェブサイトからもダウンロードできますので、ご関心のある方はご覧下さい。https://www.city.toyonaka.osaka.jp/jinken_gakushu/kokusai/tourokuguru-pu.html
 もしくは、当センターの受付でも入手可能ですので、お問合せ下さい。

「登録グループ活動紹介」の冊子をセンター受付にて無料配布中です



～地域や学校での国際理解教育にお役立て下さい!～

各国の民族衣装などを貸出します!

豊中市の公的教育機関は貸出料無料!詳細はHPもしくはお電話にてお問合せ下さい。



●アクセス:阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分